

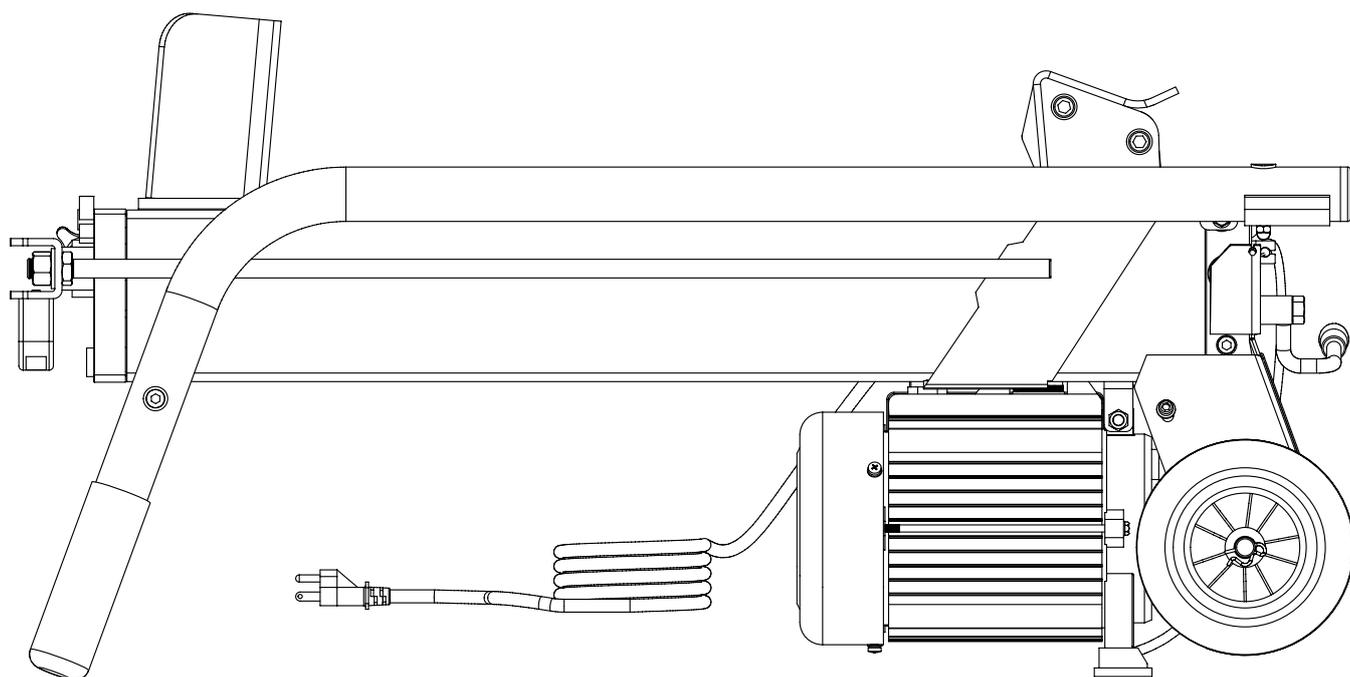
油圧式電動薪割機

# 6TON ELECTRIC LOG SPLITTER

フット式薪割機 6t **KW652F**

※リミットストッパー付き

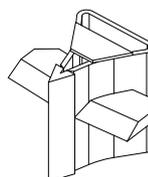
## 取扱説明書



この度は『フット式薪割機 6t KW652F』をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は使用者がいつでも取り出し確認  
ができるよう大切に保存しておいて下さい。  
本品は DIY 商品として開発された商品です。一般家庭用としてご使用下さい。

ページ	ページ
製品仕様 ..... 1	詰まった薪を取り除く ..... 11
はじめに ..... 1	オイル交換 ..... 12 ~ 13
電動工具としての警告・注意事項 ..... 2 ~ 5	故障かな?と思ったら ..... 14
各部名称 ..... 6	内部機構・展開図 ..... 15 ~ 17
作業方法 ..... 7 ~ 11	保証書 ..... 19

\*別売り クロスカッター(四つ割り用)



## 製品仕様

この度は、フット式薪割機6t **KW652F**をお買い求め頂きありがとうございます。  
ご使用の際は、この説明書をよくお読み頂き、正しくお使い下さい。

- 効率よく簡単に薪を割ることができます。
- 油圧式なので、静かに作業ができます。
- 大型タイヤ付きで楽に移動ができます。

機種名		フット式薪割機6t <b>KW652F</b>
モーター		100V 50/60Hz 1500W
コード長		2.0mm <sup>2</sup> /3m
薪割り力（保証値ではありません）		約7t 直径φ32cm×長さ52cm(FWS6T-52)
オイル容量		3.5L
本体サイズ	幅	935mm
	奥行	255mm
	高さ	470mm
本体重量		47.5kg
生産国		中国

薪割り力、能力は木材の材質や乾燥状態によって異なります。

## はじめに

表示内容の説明と安全上のご注意は以下のようになっていますので必ず内容を理解してから本製品をお使い下さい。



**警告**

この表示の欄には使用者が誤った取り扱いをしたときに、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



**注意**

この表示の欄には使用者が誤った取り扱いをしたときに、『障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

**注**

製品及び付属品の取り扱い等に関する重要な内容です。

この表示であっても状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。  
いずれも重要な項目を記載していますので必ずお守り下さい。

※ 本書を紛失、損傷された場合や、不明なこと、お気付きのことがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

## 電動工具としての共通の警告・注意事項



### 警告

## 作業する場所について

- ◆ 作業場は整頓し、キレイな場所で作業するようにして下さい。
- ◆ 作業をする際の周囲の状況にも考慮して安全に作業をして下さい。  
(雨中で使用したり、湿ったり濡れた機械を使用すると思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 可燃性の液体やガスのある場所での使用は絶対にしないで下さい。  
(火災や爆発等思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。  
(暗い場所での作業は、思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 作業をする際は、作業者の半径5 m以内の周囲に作業者以外の人を近づけないで下さい。  
(思わぬ事故の原因となり大変危険です。)



### 警告

## 作業するときの服装について

- ◆ 作業者は作業に適した服装で作業をして下さい。  
(長袖、長ズボン、帽子(ヘルメット)、防塵メガネ、防災面、手袋、マスク等を身につけ、安全に作業をして下さい。作業に適さない服装は、思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 作業者は作業中にだぶだぶの衣服やネックレス、ネクタイ等は着用しないで下さい。また、長い髪は、帽子やヘアバンド等で覆って下さい。  
(作動部に巻き込まれ思わぬ事故となります。)



### 警告

## 電源について

- ◆ 使用電源は、100V・15A以上のブレーカーのあるコンセントをご使用下さい。  
また、タコ足配線での使用はしないでください。  
(コンセントの容量が不足すると、モーター回転に異常(高速回転や低速回転)が発生し、機械が破損するおそれがあり大変危険です。)
- ◆ 本機は100V専用機種です。  
(200Vの使用は絶対にしないで下さい。誤って200Vを入力すると、本機の破損の原因になります。)
- ◆ 電源コード、電源プラグは乱暴に取り扱わないで下さい。  
(コードを持って電源プラグを抜いたり、本機を運んだりしないで下さい。電源コードの配線が切断される恐れがあり、故障や思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ※ 電源プラグの抜き差しは、電源プラグを持ち安全に抜き差しして下さい。
- ※ 本機の移動、運搬は本機の取っ手等をしっかり持ち移動を行って下さい。
- ◆ 電源コードを傷つけたり、破損したり加工しないで下さい。  
(重い物を乗せたり挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、漏電、ショートにより火災や思わぬ事故の原因となり大変危険です。)



警告

## 取り扱いについて

- ◆ 本機を使用する際は、取り扱い方法、作業の仕方、周囲の状況を十分に注意して作業をして下さい。
- ◆ 作業、ご使用前に、本機に損傷がないか、正常に作動するか、本機にひび割れ、亀裂がないか、ネジが確実に締まっているかを確認して下さい。  
(ネジのゆるみや本機のひび割れ、亀裂等ある際は、ご使用を控え、当社、もしくは販売店迄ご連絡下さい。)  
(思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 無理な姿勢、無理な場所での作業はしないで下さい。また、常に足元をしっかりと固定し、周囲の安全を確かめ作業を行って下さい。  
(無理な姿勢無理な場所で作業しますと思わぬ事故の原因となり大変危険です。)



警告

## 保管・管理について

- ◆ 本機を使用しない際は、本機に付いている、ゴミ、塵、他（作業で付着した物）をキレイに取り除き手入れをして、雨・露などにあたらない湿気のない場所に保管して下さい。 湿気の多い場所での保管は、故障の原因となります。
- ◆ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所は避けて下さい。
- ◆ 直射日光の当たる場所や、振動の多い場所も避けて下さい。  
(本機の故障の原因になります)  
(例) シート等におおっての屋外保管はモーターの水漏れ、サビの原因となります。保管は雨、露などにあたらない場所で保管して下さい。



警告

## 修理・点検について

- ◆ 取扱説明書に記載されている以外の分解は絶対に行わないで下さい。
- ◆ 本体の改造は絶対に行わないで下さい。
- ◆ 修理技術者以外の方は、修理をしないで下さい。  
(修理は必ず、お買い求めの販売店へご連絡下さい。)  
(異常動作をしたり、本機の破損、思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 本取扱説明書に記載されている、用途、使用方法以外では使用しないで下さい。  
(誤った使用は、本機の故障、思わぬ事故の原因となり大変危険です。)



## 油圧薪割機について

- ◆ 本誌取扱説明書を熟読し理解して、本機に付いている警告ラベル等を確認し、理解して安全にご使用下さい。
- ◆ 作業をする際は、作業者の半径 5m 以内の周囲に作業者以外の人を近づけないで下さい。  
(思わぬ事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 万一の感電防止のため、アースすることをおすすめいたします。  
(本体電源コードのアースをご使用下さい。)  
(ご使用できない際は、電気工事専門業者と相談しアースを取って下さい。)
- ◆ 本機を硬い水平の場所に設置し作業をして下さい。  
(急斜面や足場の悪い所での設置、作業は事故の原因となり大変危険です。)
- ◆ 本機の運転中(始動している時)は、薪割りスタンド上の「薪、プッシュハンド、ブレード」には触れないで下さい。
- ◆ 割る薪に、釘や異物がないことを確認して下さい。  
(異物がある際は、取り除いてから作業をして下さい。)  
(枝は幹から切り落として下さい。)  
(薪の両端は、直角でないと滑って危険です。直角に切ってからセットして下さい。)
- ◆ フットスイッチを使用する場合は、平坦な場所で使用して下さい。フットスイッチを付けずに本機を使用する場合は、コントロールハンドル側で操作(作業)をして下さい。
- ◆ スイッチボックス及び、プッシュハンド部は分解しないで下さい。
- ◆ 作業を終える時は、スイッチを切り、モーターが確実に停止していることを確認してから電源を抜いた後、本機の移動、清掃を行って下さい。
- ◆ 発電機による使用は、本機の故障を引き起こす原因となりますので、絶対に避けて下さい。



**注意**

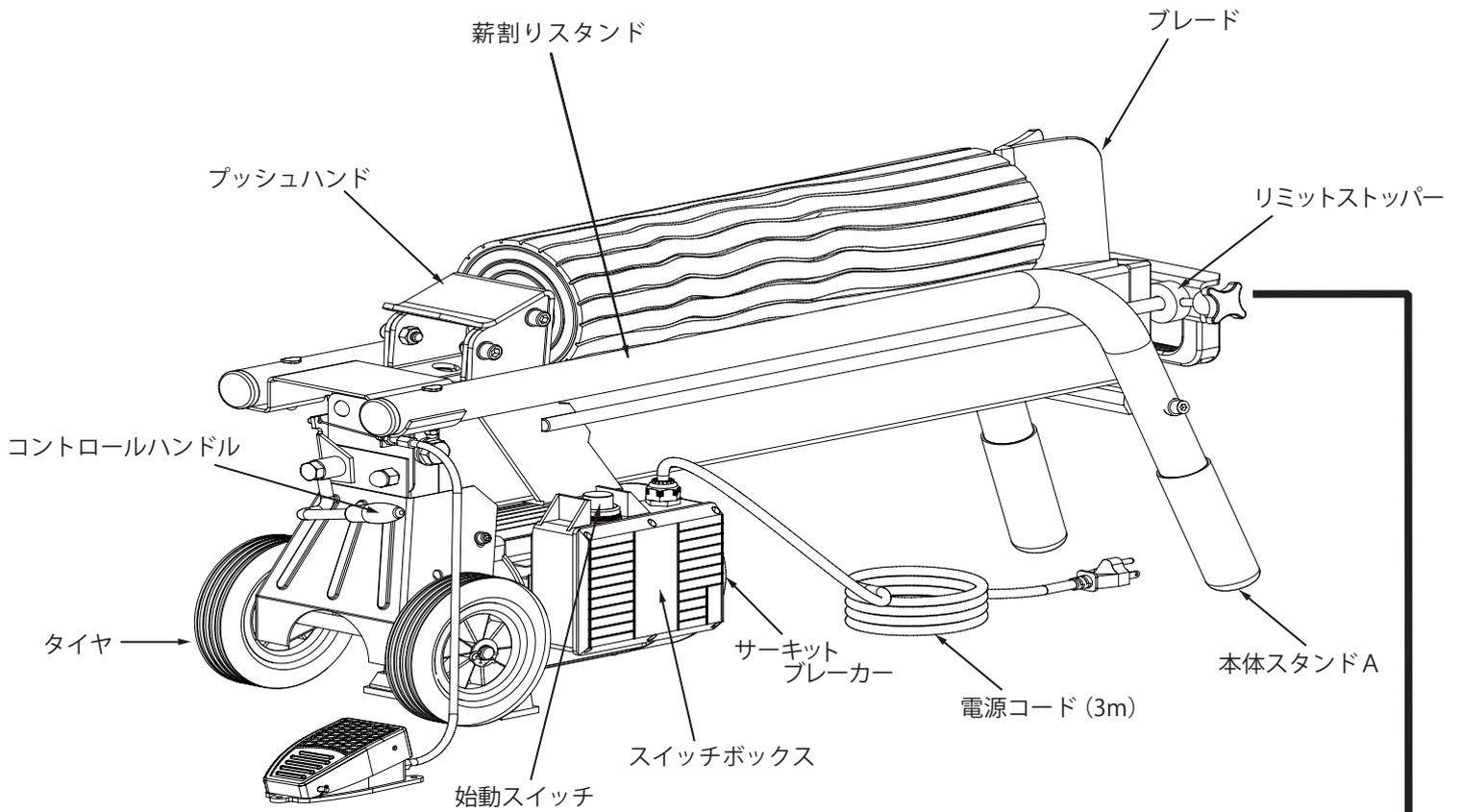
## 油圧薪割機について

- ◆ 作業に入る前に、本機に亀裂や破損がないか、ネジのゆるみがないかを、十分に点検して下さい。また、作業中も時々点検を行い、亀裂等が見つかった際は交換修理して下さい。
- ◆ 本機は、一般家庭用として開発された商品です。業務用には使用しないで下さい。下記の環境範囲で使用して下さい。  
(気温 5℃～40℃ 〈輸送、保管は -25℃～55℃〉 標高 1000m以下)
- ◆ 使用済みのオイルは、都道府県で定められた回収方法に従って処理して下さい。  
(排水溝や池、川、土壌等に捨てないで下さい。)

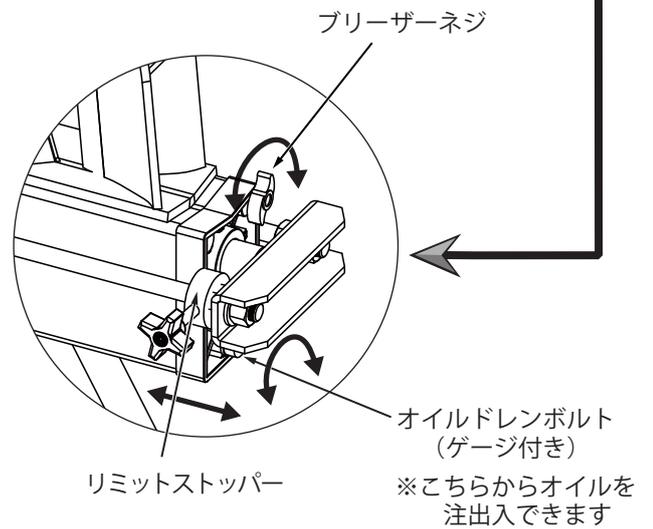
### 延長コード使用時の注意点

- ・ 市販の延長コードをご使用になる際は、屋外用 2.0mm<sup>2</sup>/電気容量 20A 以上の製品をご使用下さい。
- ・ 延長コードの長さは10m以内でご使用下さい。
- ・ ご使用になる延長コードが長過ぎたり細過ぎたりすると、電圧が落ちる原因となります。やむをえず使用される場合は、2.0mm<sup>2</sup>以上のコードを10m以内でご使用下さい。

# 各部名称



※フットスイッチ  
(フットスイッチを使用すると片足で操作できます)



# 作業方法

## 1. 外観、付属品の確認

- 本機は、工場出荷の際に、厳重な検査をしておりますが、念のため、本体の破損、ネジ類のしまり具合を点検して下さい。



## 設置・確認

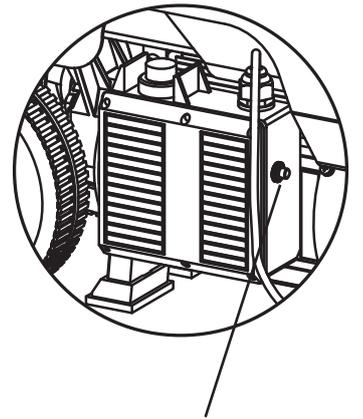
- 油圧オイルが適量入っているかを確認して下さい。12頁(オイル交換)
- 出来るだけ延長せずにコンセントより、直接電源を取って下さい。
- 本機設置は、水はけの良い平らな場所に設置して下さい。

## 2. 電源プラグをコンセントに差し込みます



## 電源スイッチの取り扱いについて

- 使用電源は、必ず銘板に記載されている電源をご使用下さい。
- 不意の始動は、安全のため避けて下さい。
- 万一の感電防止のため、アースすることをおすすめいたします。
- 本機は、防滴スイッチを採用していますが、モーター部には、水がかからないよう注意して下さい。
- モーター保護装置(サーキットブレーカー)について
  - ・サーキットブレーカーボタンがあります。これは、電圧降下が大きかったり、モーターが異常に過熱した場合、スイッチボックスの横にモーター保護のため作動します。
  - ・モーターが停止した場合、作動スイッチをOFFにして下さい。この場合、電圧降下の原因として延長コードが長すぎたり、細すぎたりしていないか、また同一のコンセントで他の電動工具を使っていないかをご確認下さい。
  - ・再起動は、45秒以上経過後、モーターの温度が冷えてからサーキットブレーカーボタンを押して、作動スイッチを入れて下さい。
  - ・何回もサーキットブレーカーが作動する場合はモーターが損傷する恐れがあります。



サーキットブレーカーボタン

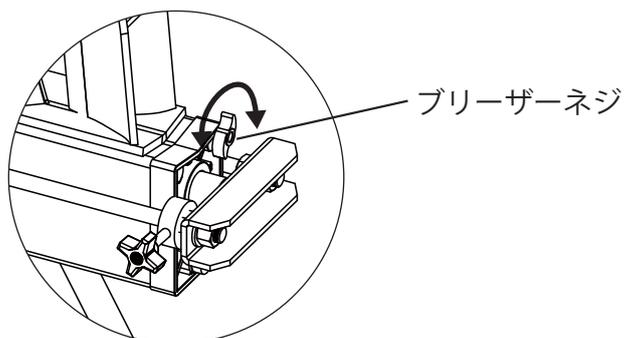
## 作業方法

1. ご使用前に必ず、ブリーザーネジを3～4回反時計方向に回して下さい。  
(本機内へのエア [空気] の出入り口になります)

● ブリーザーネジは緩めた状態で本機をご使用下さい。

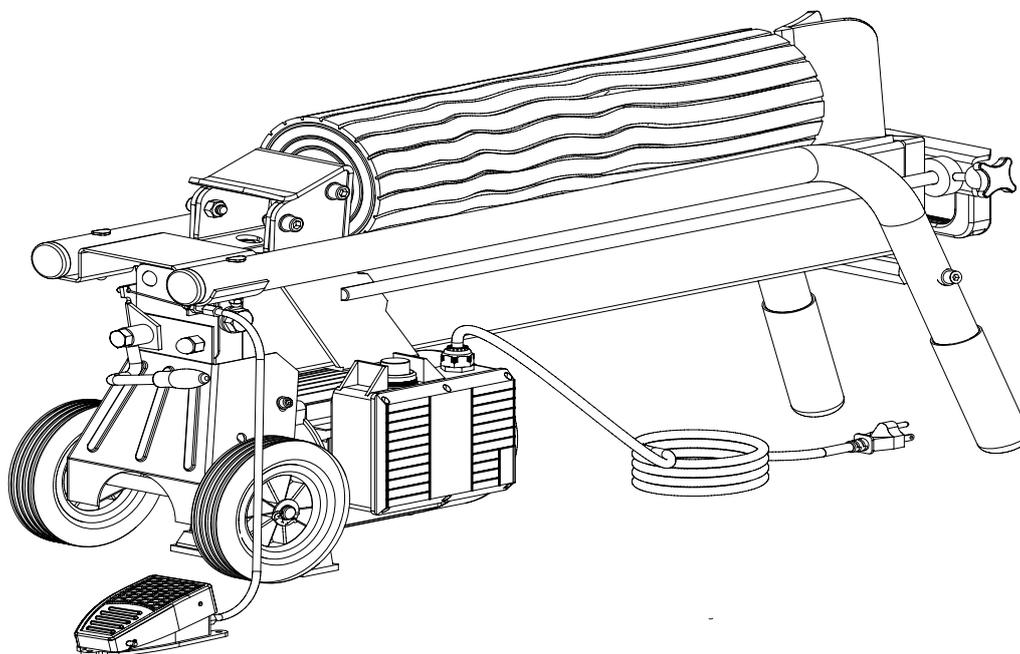
**注**

本機での作業終了時に、ブリーザーネジを確実に締めて下さい。



2. 薪を本機の薪割りスタンドに置いて下さい。

● ブレードに薪を木目に沿ってあて、タテで割れるように薪をセットして下さい。



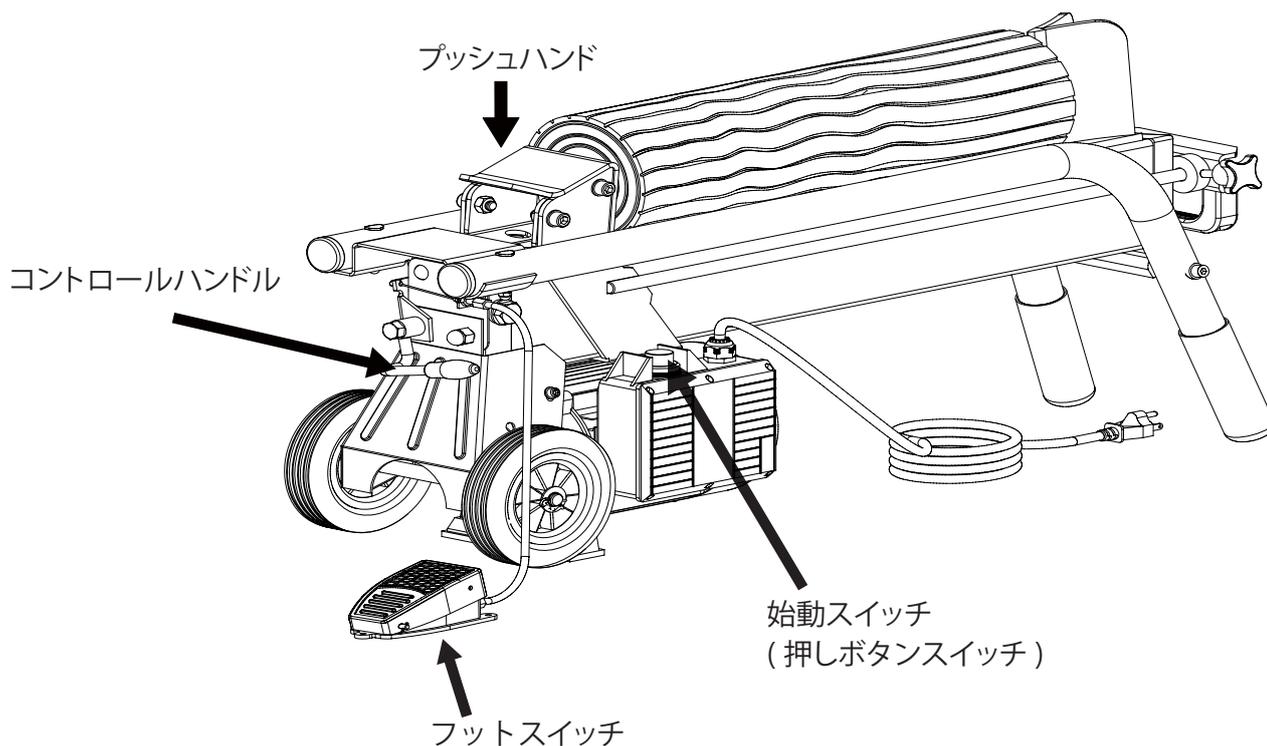
**注**

薪は、必ず木目(縦)でセットして下さい。

薪を本機に対し横向きにセットすると思わぬ事故の原因となり大変危険です。

### 3. 始動スイッチを押すと本機に電源が入ります。

- ① 始動スイッチを押し、モーターが作動していることを確認して下さい。
  - ② 本機から離れ、フットスイッチを足で踏み込んで下さい。
  - ③ プッシュハンドがブレードの方向に進みます。
  - ④ そのまま押し続けるとプッシュハンドが薪を油圧で押しブレードを利用して薪を割ります。
  - ⑤ 薪を割った後は、フットスイッチから足を離して下さい。自動でプッシュハンドルが元の位置に戻り、コントロールハンドルも元の位置に戻ります。
- ※延長コードの使用については、P.5をご参照下さい。



#### ※ポイント※

- ◇ 薪の材質・硬度によって割れにくい薪もあります。
  - ◇ 数秒たっても割れない場合は、薪の向きを変え、薪を 90°回転させセットし逆方向から作業をして下さい。
- ※ この作業で割れない薪は、本機的能力では割ることは出来ません。

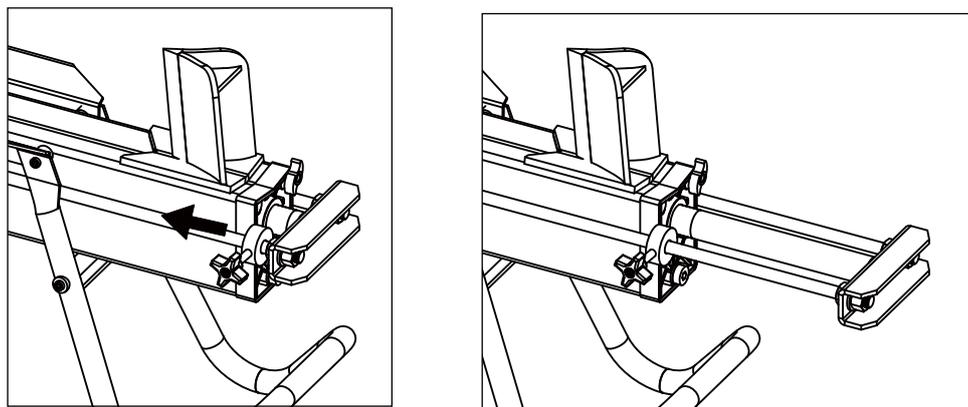
#### 注

- 加圧 (始動スイッチを押し、コントロールハンドルもしくはフットスイッチを押した状態) 後 5 秒以上経っても薪が割れない場合は運転を中止して下さい。
- 5 秒以上圧力を掛けると、機械の破損、モーター損傷及び思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- 薪は必ず、1 個ずつ機械にセットし割って下さい。
- 2 個以上同時に機械にセットして割ることは、機械の故障及び、思わぬ事故の原因となり大変危険ですので絶対にしないで下さい。

## 4. リミットストッパー使用方法

・薪の長さに応じてリミットストッパーを設定する事によって、プッシュハンドが設定位置で停止し効率よく作業が出来ます。

- ① 始動スイッチを押しモーターを作動させコントロールハンドルを手前側に倒しプッシュハンドを設定したい位置まで動かして下さい。
- ② プッシュハンドが設定したい位置まで移動したら、もう一度始動スイッチを押しモーターを停止させて下さい。また、モーターを停止させる際にはコントロールハンドルは手前側に倒したままにしてください。(コントロールハンドルを戻してしまうと、プッシュハンドも自動的に戻ってしまいます。)
- ③ コントロールハンドルは倒したまま、リミットストッパーの固定ネジを緩め、矢印の方向にリミットストッパーを移動させ設定したい任意の位置でリミットストッパーの固定ネジを締めて下さい。(ストッパーを解除する場合は、上記と逆の手順でリミットストッパーを解除して下さい。)



## 5. 作業終了時

- ・スイッチを押してモーターを停止して下さい。
- ・作業が終了し移動させる場合はブリーザーネジを確実に締めて下さい。

**注**

閉め忘れは、内部に水分やほこりが入り、本機の故障の原因となる恐れがあります。

## 移動方法

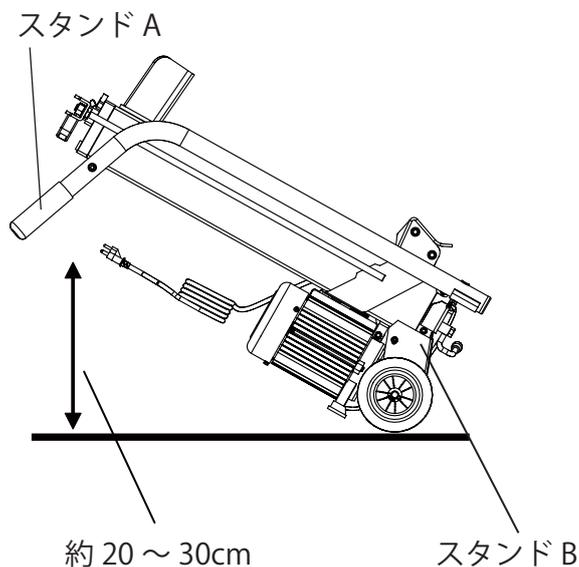
本機の取っ手をしっかりと持ち、本機を図の様に約 20 ～ 30cm 持ち上げます。  
本体スタンドが、地面より浮いていることを確認してから本機の移動を開始して下さい。

### 注

本機は、本体スタンド A・B で本機の平行を保っている為、通常設置するとタイヤが浮いた状態になります。

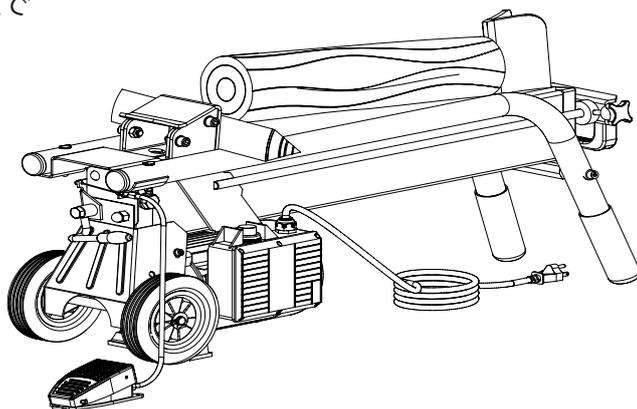
本体スタンド A・B を浮かせないで移動すると、地面等に本体スタンド A・B がすれ、本体スタンドの変形につながり本機の平行が保たれなくなる可能性がありますので、必ず浮かせてから、タイヤで移動をして下さい。

※本機の移動時はブリーザーネジが確実に締まっていることを確認して下さい。



## 詰まった薪を取り除く

1. コントロールレバーから手を離して下さい。
2. プッシュハンドが後ろに下がり、完全にスタート位置で止まったら、一度電源を切して下さい。
3. 電源が切れているのを確認し、くさび状の木を詰まった薪の下に差し込んで下さい。（右図参照）
4. 機械をスタートさせ、くさび状の木を完全にその薪の下に押し込みます。  
薪が完全に取り出せるまで、より大きな角度のくさび状の木で上記作業を繰り返します。



詰まった薪を叩いて取り出そうとしないで下さい。

機械にダメージが加わり故障の原因になります。

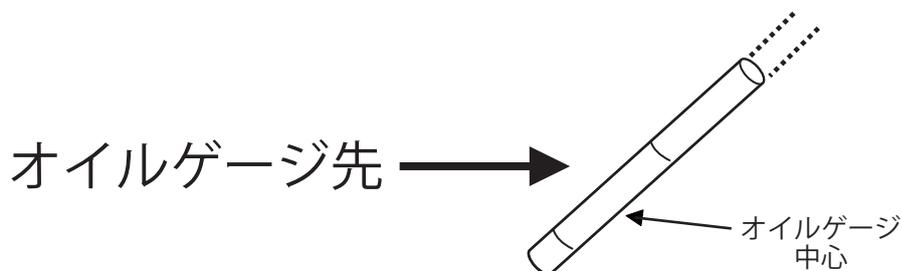
また、薪が飛び出して事故を引き起こす可能性があります。

# オイル交換

※ 本機のオイル交換の目安は、150 時間使用する毎に交換して下さい。

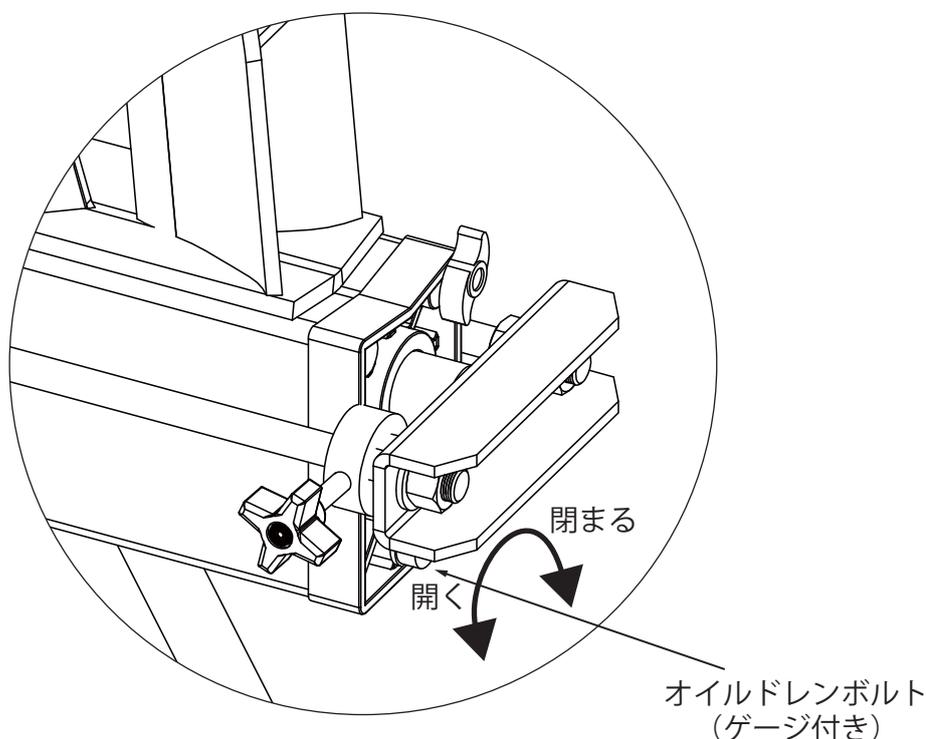
※ 透明のオイルが黒く濁ってきたら交換して下さい。

※ オイル量の確認は、本機の取っ手を持ち、タイヤ側に本機を起こし、本機を 45 度 に立て、オイルゲージの中心よりオイルが少なくなった際は、オイルを足して下さい。



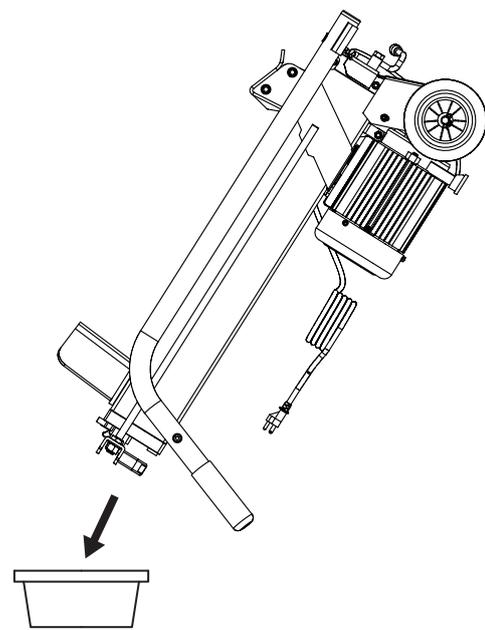
## オイルの交換方法

- オイルの交換の際は、本機の電源を切り（コンセントを抜いている状態）  
周辺の安全を確認してから行なってください。
  - 本機の品質を保つ為、オイルは油圧作動油 22番、または薪割り機専用オイルを入れて下さい。  
（オイル指定メーカーはありません。）  
他の番手のオイルを使用したり、混ぜたりしないで下さい。
1. プッシュハンドが本機のコントロールハンドル側に完全に戻らないように、本体から10cmほどのポジションでリミットストッパーをロックして下さい（完全にプッシュハンドを戻してしまうと、オイルゲージが抜けなくなる場合があります）。
  2. 本機前部の取っ手を持ち上げ、タイヤ側に本機を45度に立てます。
  3. 45度にした状態で、六角レンチでオイルドレンボルトを反時計回りに回して取り外します。



4. 本機の中にあるオイルを空ける容器を本体の下に置き、本体後部側を持ち上げて傾け本機内のオイルを全て抜き取ります。
5. 完全にオイルが排出された事を確認してから本機前部の取っ手を持ち上げ、オイル注入口を上にして垂直に立てた状態で、じょうご等を使用して新しいオイルを注ぎ入れます。  
※オイル容量は 3.5L ですが、シリンダー内部にオイルが残留している場合がありますので、オイルゲージを確認しながら作業を行ってください。
6. オイルゲージでオイル注入量がゲージレベルの中間にあることを確認してください。  
(本機のタイヤ側を下にして起こした状態で確認してください。)
7. オイルゲージの汚れを布などで拭き取り、オイルゲージを差込み六角レンチで確実に締めてください。  
薪割機を使用した後は、ブレードの刃部を点検し、刃先が磨耗していたらディスクグラインダー等で鋭利にしてください。薪が割れやすくなります。

※ オイル注出入口のボルトが確実に締まってないとオイル漏れの原因となります。  
確実に閉まっている事を確認してから作業を開始してください。



# 故障かな？と思ったら



**注意**

## 点検・修理

- 本機の分解は絶対にしないで下さい
- 修理はお買い求めの販売店にご相談下さい

故障かな？と思ったら際は、まず次のチェックリストにそって点検を行ってください

症状	原因	対処方法
モーターが回らない	本機のサーキットブレーカーが切 (OFF) になっていないか？	本機のサーキットブレーカーをリスタートする
	電圧が低くないですか？(電圧降下)	延長コードが長すぎか細すぎる場合太さ2.2mm <sup>2</sup> 以上で、10m以下にする。または、延長コードの使用をやめる
		コンセントは、電力メーターに近い20A以上のコンセントを使用する
		同一のコンセントで他の工具と一緒に薪割機を使用していた場合、他の電動工具は使用をやめ、単独で使用する
		タコ足配線になっていた場合、単独で使用できるコンセントに変更する
		モーターが高温になっていた場合、冷えてから作動させる
薪がうまく割れない	薪の置く位置が不適當	作業手順を参照して薪をセットしなおしてください
	薪のサイズ、硬さが本機の容量を超えている	薪のサイズを本機容量サイズにしてから、機械で割って下さい
	オイル量が不足している	オイル注出入口より、適正量になるよう足してください
	オイルが漏れている	修理を依頼して下さい
	切断ブレードが鈍っている	切断ブレードの先端部分をヤスリ、刃研ぎグラインダー等で研磨して下さい。
プッシュハンドルの動きが悪く不自然な揺れがある	油圧オイルがなくなり油圧が上がらない	オイルの点検をしてください (11 ページ参照)
	空気が油圧システム内に入っている	ブリーザーネジを3~4回、反時計回りに回す (8 ページ参照)
オイルがモーター裏付近やオイル抜きボルト及び他の場所から漏れている	オイル抜きボルトが確実に締まっていない	オイル抜きボルトを確実に締めてください

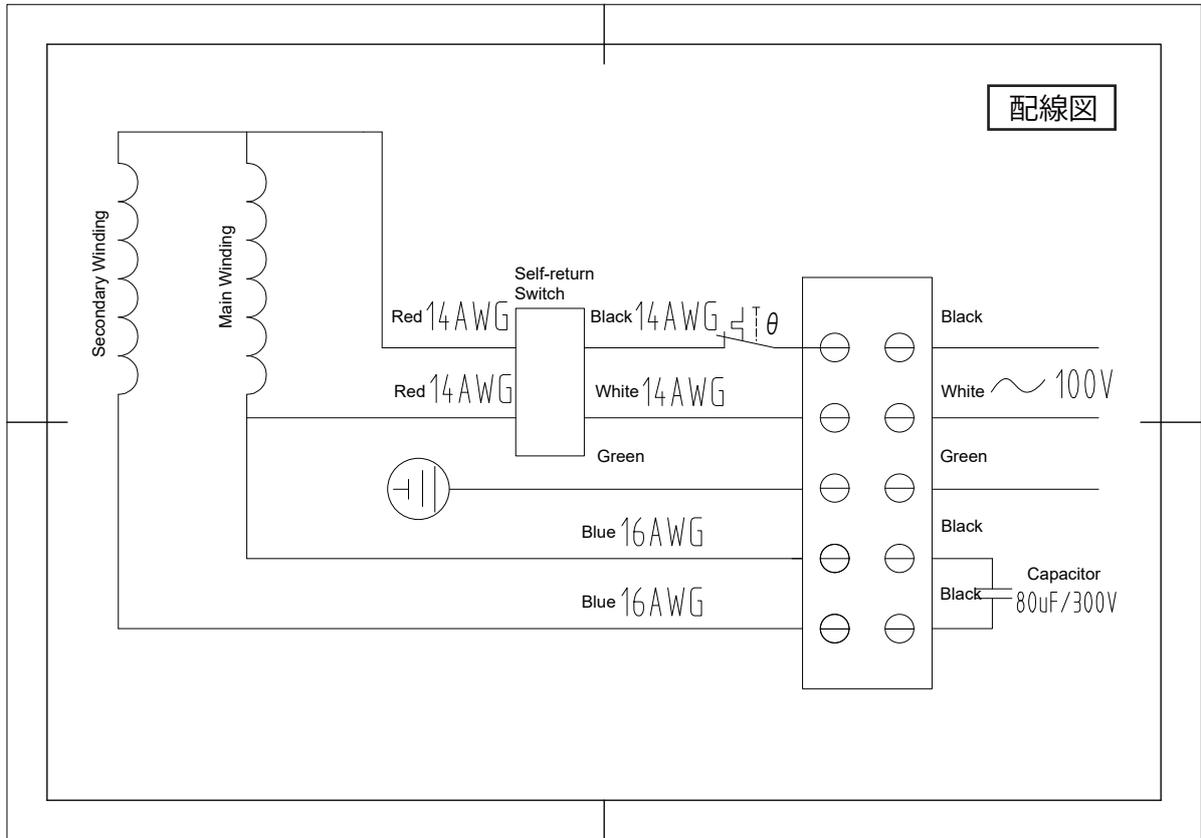
※ 改良の為、断り無く、外観、仕様を変更する事があります。

## ! 低電圧について

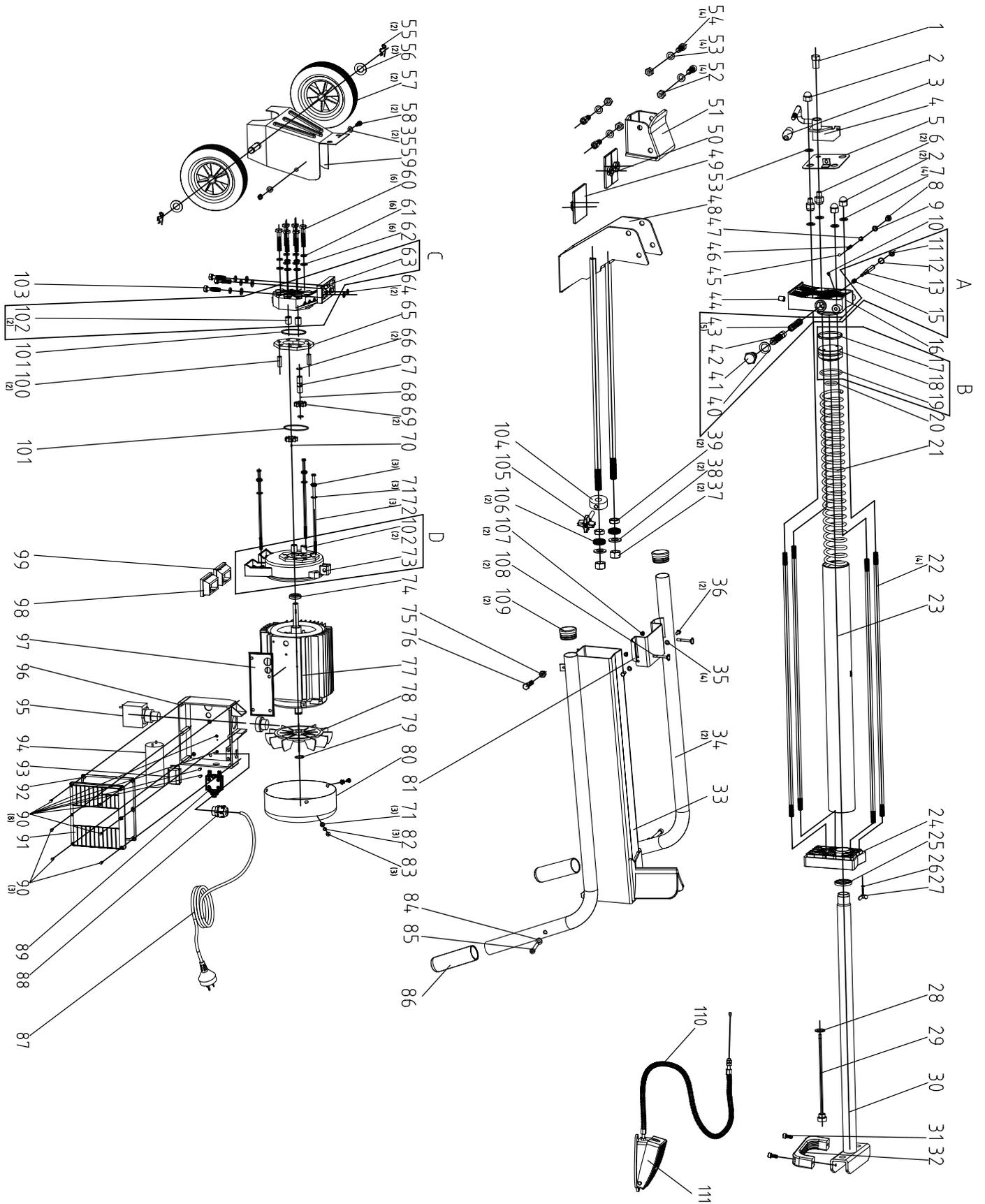
本機を正常に作動させるために低電圧での使用は避けてください。低電圧で使用を続けるとモーターやコンデンサーの焼損など重大な故障の原因となります。

- ・ 延長コードが長すぎたり、細すぎたり場合に電圧が落ちます。やむを得ず使用される場合は、2.2mm<sup>2</sup>以上のコードを10m以下でご使用ください。
- ・ コンセントを他の電気機器と一緒に使用すると電圧が落ちます。他の電気機器の使用を一時中止してください。またコンセントがいくつかある場合は、電力メーターや分電盤に近いコンセントをご使用ください。
- ・ 薪割機の起動時は、瞬間ですが消費電力の約4倍の電流が流れます。低電圧での使用時は、モーターやコンデンサーの焼損など故障の原因となります。

# 内部機構



# 展開図



番号	部品名	個数	番号	部品名	個数
1	レバーマウントナット	1	56	ワッシャー	2
2	ナットキャップ	3	57	ホイル	4
3	レバーノブ	1	58	ネジ M6x10	2
4	レバー	1	59	ホイルマウント	1
5	保護プレート	1	60	ボルト	6
6	ナット	2	61	スプリングワッシャー	9
7	銅ワッシャー	4	62	ワッシャー	9
8	ネジ	1	63	ポンプカバー	1
9	Oリング	1	64	スプリング	2
10	調整ねじ M5x8	1	65	シム	1
11	ワッシャー	1	66	サークリップ	2
12	Oリング 6.7x1.8	1	67	ギアシャフト	1
13	バルブコアロッド	1	68	鉄球	1
14	ワッシャー	2	69	ギア	2
15	スプリング	1	70	ピン	1
16	フレームカバー リア	1	71	ワッシャー	6
17	Oリング	1	72	ボルト	3
18	ピストン	1	73	モーターカバー	1
19	ピストンリング	1	74	モーターオイルシール	1
20	Oリング	1	75	ナット	1
21	スプリング	1	76	ネジ M8x35	1
22	ボルト	4	77	モーター	1
23	油圧シリンダー	1	78	ファン	1
24	フレームカバー フロント	1	79	クリップ	1
25	プラスチックOリング	1	80	モーターファンカバー	1
26	Oリング	1	81	リアサポート	1
27	ブリザーネジ	1	82	スプリングワッシャー	3
28	ガasket	1	83	ネジ	2
29	ドレンボルトオイルゲージ付き	1	84	ワッシャー	2
30	ピストンロッド	1	85	ボルト M8x50	2
31	ネジ	2	86	パイプフレームカバー	2
32	移動ハンドル	1	87	電源ケーブル	1
33	フレーム	1	88	ナット	3
34	パイプフレーム	2	89	サーキットブレーカー	1
35	ワッシャー	4	90	ネジ	1
36	ネジ	2	91	スイッチボックスカバー	1
37	ナット	2	92	パッキン	1
38	ワッシャー	2	93	コネクションターミナル	1
39	ナット	2	94	コンデンサー	1
40	ワッシャー	1	95	電源スイッチ	1
41	ナットプラグ	1	96	スイッチボックス	1
42	バルブスリーブ	1	97	密封プレート	1
43	スプリング	5	98	ゴム足パッド 左	1
44	調整ねじ	1	99	ゴム足パッド 右	1
45	スチールボール	1	100	ピン	1
46	圧力制限バルブスプリング	1	101	Oリング	2
47	調整ねじ	1	102	スライドスリーブ	2
48	スライドステー	1	103	ボルト	4
49	スライド板 下	1	104	リミットストッパー	1
50	スライド板 上	1	105	リミットストッパーノブ	1
51	プッシュハンド	1	106	スプリングワッシャー	2
52	ナット	4	107	ナットキャップ	2
53	ワッシャー	5	108	スプリングワッシャー	2
54	ボルト	4	109	キャップ	2
55	クリップ	2	110	フットスイッチケーブル	1
			111	フットスイッチ	1



# 保証書

品名	フット式薪割機 6t KW652F		
保証期間	お買い上げ日より1年	お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所: 〒 お名前: 電話: — —		
販売店	ご住所: 〒 お名前: 電話: — — 印		

(注) 欄に記入が無い場合、またはそれに代わる資料の添付が無い場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内でも下記の場合は有料修理となります。

- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び破損
- お買い上げ後の落下、運送等による事故及び破損
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障および破損
- 一般家庭以外、(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び破損
- 本書の提示が無い場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、あるいは、字を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合は、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、点検、修理をご依頼してください。

本書の再発行は致しませんので大切に保管してください。

発売元  
株式会社コメリ  
住所 〒950-1492  
新潟県新潟市南区清水4501-1  
TEL 025-371-4111

企画元  
インターファームプロダクツ株式会社  
住所 〒176-0022  
東京都練馬区向山4丁目35-1  
TEL 03-3998-0602